

平成11年(1999年)11月15日

千葉ニュータウン新聞

今回、「北総・公団鉄道運賃値下げを実現する会」が発足し、住民運動を開始しました。

目標とするのは、キロ当たり日本一高い運賃を値下げしていただく。この要望を、実質上の意思決定権者である都市基盤整備公団(旧住宅・都市整備公団)の総裁あてに、その趣旨に賛同の沿線居住者・利用者のみならずの署名をとりまとめ、その署名簿を添えて、申し入れを行うこととするものです。

北総・公団鉄道線が抱える幾多の問題のうち、運賃の高さが沿線住民・利用者の家計を大きく圧迫し、日々の生活に多大なマイナス影響を及ぼしています。また、それ故に、千葉ニュータウンの一部地域では人口の減少が生じている状況です。このような状況に対し、根本的解決への糸口を示すことなく、いたづらに年月を費やすならば、これまでに先人達が積み上げてきたニュータウン構想が瓦解しかねないと危惧しております。

沿線住民・利用者・その雇用主は、他の東京近郊の鉄道運賃の二倍、三倍の負担を強いられています。しかしこれまで、開発への相応の負担を将来の夢に託し、二十年の長きにわたるこのような状況を甘受してきました。もう、これ以上問題を引き延ばすことなげ、運賃の早期引き下げと、先の見える解決の方向をはっきりと提示いただいてもよいだけの十分な期間が経過

したかと思えます。したがって、今回の運動は可及的速やかな運賃の是正を求めて取り組みます。こうした観点とあわせ、わたくし個人の考え方を、加えて述べさせてもらうことすれば、長期的には成田への延伸という回答を求め、この路線を支える運動を継続、展開していきたくと考えています。

耐えられぬ北総運賃

※住民パワーで値下げを実現しよう※

吉田 治男



北総・公団鉄道は開発当初から二つの目的を持つていたことを想起していただきたい。①千葉ニュータウンの開発を成田空港への延伸として、成田空港と都心の航空旅客を運ぶ幹線としての役割です。国から求められたこの役割が果たせる基盤整備をしていただくよう関係者のみなさんにお願したい。袋小路のこの路線にとりて、成田への延伸なくして、乗客の大幅な増加は他に見込めません。将来、成田空港につながら、乗客が増え、収支が好転するまで、ふたたび、希望を託していきたくと思っております。

北総線の経営状況も自主努力の範ちゅうを越え、このままでは否応なしに最終的な決断が迫られます。この点に關し、短期的には金利削減と資金の補充、長期的には将来にシフト方向性の明示が必要と見えます。この点について、開発各位の持論の努力と決断を促したいとの思いと願いから、わたへは、この運動に加わ

りました。北総・公団鉄道は開発当初から二つの目的を持つていたことを想起していただきたい。①千葉ニュータウンの開発を成田空港への延伸として、成田空港と都心の航空旅客を運ぶ幹線としての役割です。国から求められたこの役割が果たせる基盤整備をしていただくよう関係者のみなさんにお願したい。袋小路のこの路線にとりて、成田への延伸なくして、乗客の大幅な増加は他に見込めません。将来、成田空港につながら、乗客が増え、収支が好転するまで、ふたたび、希望を託していきたくと思っております。

ぜひ、初期目的を方難を排して推進していただきたい。その際には、空港・都心を結ぶ他の交通機関との競争原理の中で、現行運賃の半額等、一定の運賃に落ち着かざるを得ないものと考えます。今に生きるわれわれが、関係各位とともに大同に立ち、英知を絞り、成田への早期接続を実現する一助になりたいと願っています。また、成田空港への接続の早期意思決定は、低迷する景気に大きな刺激となるに違いないと見えます。最後に、運動展開に当たり、忽ちにして、マンパワー、知恵、お金が必要です。チラシ配布・訴え、署名運動など、

ンパワーの提供をいただける方、行政・運輸・土木・建設・設計・都市計画・環境等の専門家の方々の知恵をお借りしたい。協力していただける方は事務局(0477-491-1343)までお知らせ下さい。そして資金。資金カンパニーに託していただける方は、次の郵便振込口座に、ご協力をお願いいたします。

口座番号 0014005
159504

口座名 北総・公団鉄道運賃値下げを実現する会
「北総・公団鉄道運賃値下げを実現する会」(事務局長)

北総開発鉄道(本社・鎌ヶ谷市)はこのほど、北総・公団線の不正乗車の状況を調

北総・公団線

査した。その結果、四十五十代の男性を中心に、三か月半で百九十一件の不正乗

3か月半で「キセル」191件

高すぎる運賃が一因?

車が見つかり、「反則金」を影響しているようだ。急の計四線を利用して通勤社員(2)もいた。北総・公団線の運賃は、不正乗車は「高すぎる」動の足をも引「張る」行為と、沿線住民から「高すぎる」動の足をも引「張る」行為との批判が強く、十月には、白井町の住民らが「値下げを実現する会」を結成。千葉ニュータウンエリアの路から、最初からキチンと払った住民が、五十四万三千八百円を徴収された女性会に対し、署名簿を提出している。

布落としても、定期落とす。収された五十二歳の男性会社員は、六か月定期で白井性だが、五十四万三千八百円を徴収された女性会に対し、署名簿を提出している。

急の計四線を利用して通勤社員(2)もいた。北総・公団線の運賃は、不正乗車は「高すぎる」動の足をも引「張る」行為と、沿線住民から「高すぎる」動の足をも引「張る」行為との批判が強く、十月には、白井町の住民らが「値下げを実現する会」を結成。千葉ニュータウンエリアの路から、最初からキチンと払った住民が、五十四万三千八百円を徴収された女性会に対し、署名簿を提出している。

99取材くらから

ページ 9

五万六千五百八十八人の署名簿を、都市基盤整備公団の増山雅二副総裁に手渡した「北総・公団鉄道運賃値下げを実現する会」会長の岩田典之さん(45)は、応接室に響きわたる声で言った。「地元住民の熱き思いです」

北総線運賃値下げ要望

千葉ニュータウンに住む約八万人の足、北総・公団鉄道の運賃の高さが、住民の抗議運動にまで発展している。「実現する会」が、都内にある北総開発鉄道の経営母体のひとつ、都市基盤整備公団に署名を添えて値下げを求める要望書を出したのは今月二十一日のこと。会の発足から三か月近くで、これほどの量の署名を集めたのは、正直言って驚きだった。

岩田さんは、ニュータウン内の白井町けやき台の住民。四年前までは横浜で妻と子どもと一緒に暮らしていたが、

わずか3か月、5万6500人署名



千葉ニュータウン内の公園で遊ぶ子供ら(白井町けやき台で)

長男が大きくなるとつれ、カエルやトンボを追いかけた広島での少年時代を思い出して、東京の勤務先に近い現在のマンションに引っ越した。

長男とザリガニやカブトムシを採って遊び、春先はウグイスの声で目が覚めるように骨をうすめよう」と心に決めるほど満足していた。ただ一つ、北総線の

運賃の高さを除けば……。

九月のある日、運賃値下げに取り組み同町議らの住民集会に足を運んだ。が、議員らの話を聞きながら、「活動だけでは限界がある。高運賃で困っている住民自らが運動を起さなければ」と思った」という。

約百人が集まった会場で、同じような気持ちを持った住民が五人いた。すぐに輪が広がり、十月一日には三十人が集まって、「実現する会」を結成。署名活動を始めた。

年金生活の老夫婦の夫(65)は定年後九州から、「都内にいる娘の近くがいい」と引っ越した。

だが最寄りの西白井駅から都心まで、往復四千元にもなり二人で一緒に会いに行くことはめったにない。「パートの面接で、北総沿線というだけで露骨にいやな顔をされた」と不満を口にすると主婦もいた。こうして声を背景に、署名簿は予想以上に分厚いものになった。

約二十九キロで七百九十円と北総線は、首都圏の私鉄の二―三倍の高さだ。北総開発鉄道は「累積赤字が四百三十億円にも達する経営環境」と説明するが、住民の悩みはさらに深刻に見える。「財布落としても定期落とすな」といふ情けない言葉をなくさせるのが、岩田さんらの願いだ。

松原 知基